

ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト(DPUB)

ニュースレター第9号 (2018年3月)

国連インターン スパルタ編

国連インターン、実は結構ヒマなんです。いや暇な人がいます、笑。私と同時期のインターン（主に欧米）は、ほぼ5時きっかりには帰り、時には早退、休暇も取る、仕事がないと嘆く人もいました。これ完全に担当する専門官次第なんです。採用も専門官が決め、業務も専門官が決めるので、組織としては学生を紹介するだけ。だから、専門官から業務を与えられないインターンはすることがない。そして残念なことに、きちんと業務を与える専門官が意外と少なかったのです。

一方で、私の担当官のサン・ユンワ氏と高嶺豊氏は、仕事をバンバンふってきました。だからいつも朝8時に出社し、帰宅も午後8時。これが6ヶ月続きました。一度8時に帰ろうとしたら、ユンワ氏が手伝って欲しいと言うので、お手伝いしたら、帰宅は午前1時ということもありました。ただこのお陰で、国連の仕事や障害分野に興味がわきました。つまり国連というエリート集団でも、やる人はやるし、やらない人はやらない。結局、自分次第ということをよくよく学びました。またなんとと言っても、障害分野に参加する人々が面白かったのが印象的でした！（つづく・・・）



DPUBチーフアドバイザー 千葉寿夫

DPUB Facebookページがパワーアップします！

2018.02.20



勉強会の様子

DPUBのページをより多くの方に届くページにしたい。その思いから、外部講師を招聘し、「Facebook活用術勉強会」を開催しました。自宅にいるモンゴル人障害者の方々へ向けて、効果的な情報発信をできないか、写真の掲載の仕方、など様々な方法を学びました。なお本日の勉強会には、JICA社会保険実施能力強化プロジェクト、モンゴル日本人材開発センタービジネス人材育成・交流拠点機能強化プロジェクト、建設分野における労働安全管理能力強化プロジェクトの皆さんも同席され、Facebookの新機能や使い方を学びました。今後は各プロジェクトの取組みから得られた気づきを共有し合い、モンゴルでさらに効果的な情報発信をしていきたいと思ひます。

を学びました。なお本日の勉強会には、JICA社会保険実施能力強化プロジェクト、モンゴル日本人材開発センタービジネス人材育成・交流拠点機能強化プロジェクト、建設分野における労働安全管理能力強化プロジェクトの皆さんも同席され、Facebookの新機能や使い方を学びました。今後は各プロジェクトの取組みから得られた気づきを共有し合い、モンゴルでさらに効果的な情報発信をしていきたいと思ひます。

3月5日に修了式

2018.03.05



修了式

3月5日に2017年度最後の「若手障害者リーダー勉強会」が実施されました。これまでに実施してきたイギリス、アメリカ、日本、タイ、フィリピンの障害者運動の歴史をおさらいした後、千葉リーダーによる難しい試験問題が登場・・・。え～！と言いながらも、皆さん、真剣な表情で問題を解いて、時間内に提出してくれました。最後は全員でパチリ♪ 全ての勉強会に参加したリーダーには、修了証が手渡されました。



JICA DPUBのFACEBOOKページに「いいね」をお願いします。

お陰様で、今ではページのいいねが1621件に達成し、より多くの方に情報を発信できるようになりました。これからも、楽しんでいただけるような投稿を目指して頑張ります。引き続き、宜しくお願い致します。

## 誰もが使いやすい空港へ【第三弾】チンギス・ハーン空港職員に対する講義

2018.02.19

なぜいま誰もが使いやすい空港を作る必要があるのか？ モンゴル政府の取組と、その背景にある障害者権利条約、そして誰にでも使いやすい空港を作る意義を説明するために、チンギス・ハーン空港にお邪魔して、講義をさせていただきました。182名が参加する職員研修だったので、少し緊張しました。まずは車椅子の空港や飛行機利用が良く分かる日本の「車椅子ウォーカー」の動画をお見せしました。この動画、非常によくできてるんですね。ANAの事例ですが、参考になります。そして次に、モンゴル政府が障害施策に取り組む背景としての障害者権利条約、特に障害の社会モデルや合理的配慮について説明しました。モンゴル政府は、2016年2月に障害者権利法を制定し、その実施にいま力を入れています。権利法は、権利条約をベースに作られており、モンゴル国内でも社会モデルの普及や障害者差別の禁止が進んでいます。モンゴルに来る人すべての人が使いやすい空港になることを期待して、我々は今後も活動を続けたいと思っています。



参加者（空港職員）



講義風景（空港職員）

### DETファシリテーター2期生への応募、ありがとうございました！

2018.02.26



1期生のファシリテーター

4月に開催する障害平等研修（DET）ファシリテーター養成講座の応募を締め切りました。41名の応募をいただき、これから書類審査、面接を行って、最終的な参加者16名を決定します。DETは、5-6名のチームで実施しており、また講座の後も継続してフォローアップが必要なことから、今回は地方からの応募に対応できませんでしたが、モンゴル国内から広く関心を寄せていただき、プロジェクト一同感謝しています。活躍している一期生に続いて、新たなファシリテーターの誕生を心待ちにしています！

### バガノール区の障害者に対する研修

2018.03.02

3月2日にバガノール区で障害者を対象とした障害平等研修（DET）と障害の社会モデルに関する講義を実施しました。障害を身体機能の欠陥と捉える人は多いですが、DPUBでは社会の障壁と捉えています。障害者の社会参加を促進するには、社会の障壁を削減することが重要で、ただこの社会モデルの考えは、口で説明すると安易に理解されることが多いので、DETでじっくり考えてもらいました。すると皆さん、社会にも大きな問題があることを発見し、納得してくれました。DETは3時間と長丁場ですが、グループワークが多いので楽しんで参加される方が多かったのが印象的でした。この研修を企画してくれた、バガノール区役所の社会開発課には本当に感謝です。いつも熱心に準備してくださり、また研修にもしっかり1日参加してくれます。バガノール区は子供、女性、高齢者、障害者にも優しい街づくりを目指しているので、DPUBも協力したいと考えています。バガノール区の皆様、またぜひお会いしましょう。



研修後の記念写真

Office: Government Building – 2, United Nation’s Street – 5, Ministry of Labor and Social Protection Ulaanbaatar – 15160, Mongolia

Facebook: <https://www.facebook.com/jicadpub>

Website: <https://www.jica.go.jp/project/mongolia/015/index.html>

Email: [dpub.jica@gmail.com](mailto:dpub.jica@gmail.com)